



スペースチャンネル5™

Sound Producer : Naofumi Hataya	Producer : Tetsuya Mizuguchi Yukifumi Makino Mineko Okamura
Chief Engineer : Hirokazu Akashi	Recorded and mixed at SEGA DIGITAL STUDIO Mororian
Story Designer : Takumi Yoshinaga	Music by Dr.Pris & Dr.Rachel Design by Thomas Takashi Yuda

JAZZは難しい音楽というイメージがあります。確かに高度な技術と理論が必要で、またフリーの中にも自己主張がなければいけない為、難解という印象が否めないのがその理由です。今回、レトロフィーチャーという世界観があり、そこにダンスやミュージカルといった要素を織り混ぜる事が絵的な要素、そして私がこのプロジェクトに加わる時に存在した、スパイなダンスマジックという音的要素がコンセプトとしてありました。もともとダンスマジックであったJAZZを誰にでも口ずさめる形で踊らせるといった事は、スパイ音楽好きな私にとって、とても楽しい経験だった事は言うまでもありません。ちょっと高く感じる壁をひょいと超えた感じで、誰にでも親近感を感じてもらえるのでは?と期待しております。Dr.PRIS Dr.RACHAELをこれからも宜しく!!!

スペースサウンドクリエーター 床井健一

Dr.PRIS Dr.RACHAEL

スペースチャンネル5

最終面のブランクTVとの戦いの音楽、前半は人の声のみの編成です。そこにはプロのボーカリストもいれば、音楽学校の生徒たちもいるし、実はぼくたちも密かにはいっていて、それはたくさんの人たちの歌で成り立っています。

そしてその上にたたみかけるような楽器隊の演奏を録音し、その中でひとつずつ順番にそれぞれに役割をもたせて構成しました。

これらが組み合わさってひとつになったときに僕はびっくり。

そして、それに今度は映像、セリフが加わります。

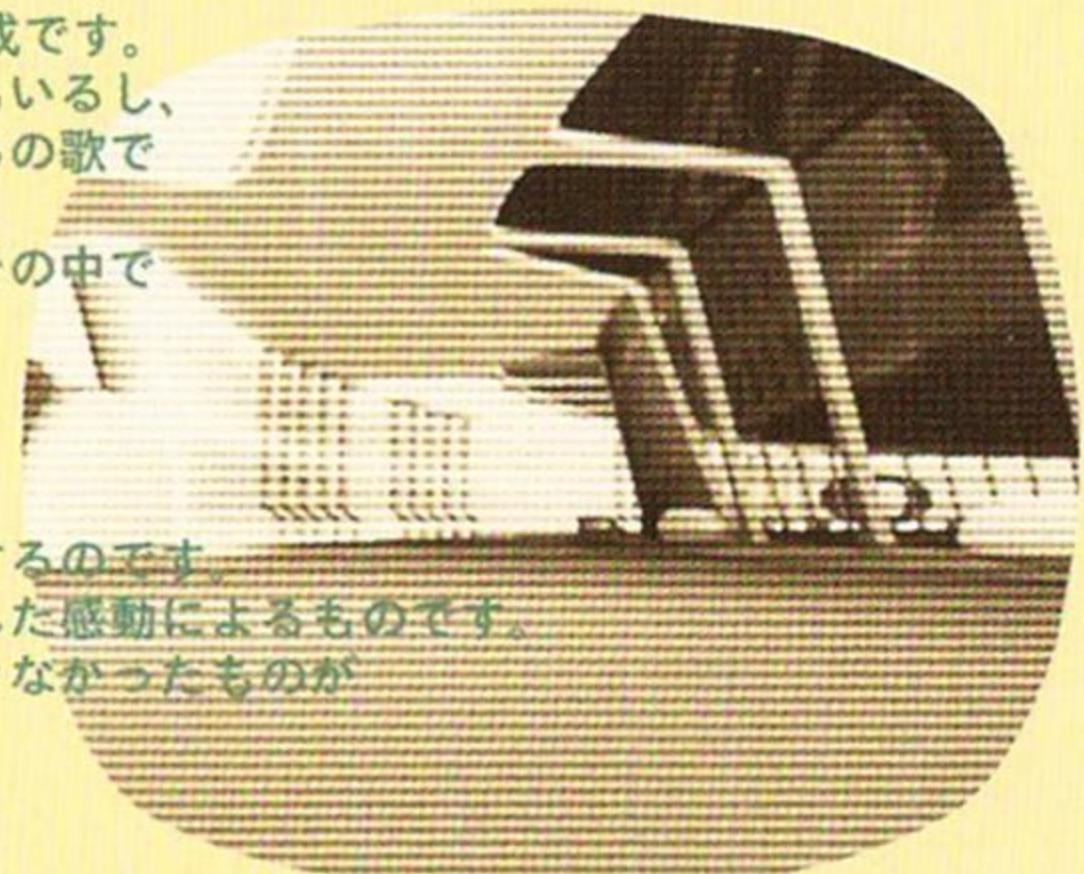
ここでまた僕はびっくり。

最後にゲームになったそれを自分でプレイしてまたびっくりするのです。

これらたくさんの僕のびっくりは頭の中のイメージを通り越した感動によるものです。

いろんな人の手が組み合わさることによって、誰にも想像できなかつたものができあがるのです。

だから、この仕事はやめられないのです。



スペースサウンドクリエーター 幡谷尚史